



学校便り

長崎市立日見中学校

第14号

令和6年11月21日

文責 校長 山本

【日見まつり】

地域の皆様、日見まつりではたいへんお世話になりました。1、2年生はお神輿やブースでのお手伝い、3年生はふるさと学の発表と「ヨッシャこい」に取り組みましたが、日見まつりに臨む中学生の姿は、皆さんの目にはどのように映ったでしょうか。活動を通して社会のマナーを意識し、地域の方々とのコミュニケーションを図ることができていたでしょうか。今後も地域に寄り添う学校として、生徒も教職員も、地域の行事に主体的に参画したいと思っています。今後とも皆様のお力添えをいただきますよう、よろしくお願いします。



【11/20 ふるさと学発表会】

昨年度から取り組んできた「ふるさと学」をブリックホールで披露しました。地域の学習でお世話になった保護者や地域の方々を始め、市内外の小中学校の先生方、教育委員会の先生方が来場され、会場は満員で大盛況でした。

1年生の「ミニ日見検定」と題したクイズに会場はおおいに盛り上がり、その後、2年生、3年生と日見の「過去・現在・未来への提言」についての発表に、会場からは「へえ～」「なるほど」といった声も聞かれるなど、会場の皆さんを終始笑顔にしてくれました。発表はどれもアイデア満載で工夫を凝らしており、とてもわかりやすかったです。終了後は、会場の皆さんからとても素晴らしい発表だったとおほめの言葉をいただきました。

また、学校・児童生徒代表・地域の方によるトークセッションには、3年の山田治人さんと松嶋那侑さんが参加しました。2人のふるさと学で得たものや地域への想いを語る姿はとても熱く、日見地区はこれからも大丈夫だと思わせてくれる力強い発表となりました。

発表者以外は、司会や受付、誘導、ステージの準備や設営、展示物の設営に一人一人が役割を持って臨み、日見中の存在感を示してくれました。生徒の皆さんのとてもはつらつとした姿に、校長として、皆さんをとても誇りに思いました。皆さん、ありがとう。

会場の都合上、保護者や地域の方を十分にご招待できず、たいへん申し訳ありませんでした。これからも、ふるさと学は続けてまいります。そして、ふるさと日見に貢献できる学校を目指してまいります。今後ともよろしくお願いします。

